

☆熊谷市議会議員☆☆黒澤三千夫☆

くろさわみちお

熊谷市議会報告

2021年10月発行

(10月～11月配布)

発行：熊谷市 **赤城町** 3-104-1

TEL/FAX：048-527-1543

e-mail:m-kurosawa@jcom.zaq.ne.jp

「くろさわみちお」の活動は

Facebook で発信中!



<https://www.facebook.com/michio.kurosawa/>

令和3年第3回(9月)定例会報告

9月定例会(議会)は令和3年9月2日～9月24日の会期で開会されました。令和2年度一般会計歳入歳出決算をはじめ、令和3年度一般会計補正予算(4号～6号)など、新型コロナウイルス感染症関連の議案も多く上程され、慎重に審議を行いました。

11月5日に任期満了を迎える熊谷市長選挙も、10月24日(日)告示・10月31日(日)投票の日程で施行されることになり、19年間の富岡市政にピリオドを打つことになりました。

富岡清市長の長きにわたる功績にあらためて敬意と感謝の意を表します。



《主な議案》 ※提出された議案はすべて原案の通り「可決」されました。

◆令和2年度熊谷市一般会計歳入歳出決算ほか ※閉会中審査を行い12月定例会で報告されます。

◆令和3年度熊谷市一般会計補正予算(第4号) ※専決処分の承認

・熊谷市議会議員補欠選挙事業 20,040千円

◆令和3年度熊谷市一般会計補正予算(第5号) 645,385千円(歳入歳出予算総額:67,541,768千円)

(主な事業) ・特別保育事業 32,288千円:民間保育施設等へICTシステム導入等の経費を補助

・新型コロナウイルスワクチン接種事業 281,547千円

・市道90007号線道路改良事業 128,900千円:未整備区間の整備改良工事(樋春地内1,400m)

・籠原駅南口線道路改良事業 74,063千円:未整備区間の整備改良工事(三ヶ尻・拾六間地内820m)

◆令和3年度熊谷市一般会計補正予算(第6号) 148,560千円(歳入歳出予算総額:67,690,328千円)

(主な事業) ・「STOPコロナ」地域公共交通支援事業 29,600千円:路線バス事業者、タクシー事業者へ交付金増額

・「STOPコロナ」福祉避難所整備費支援事業 16,000千円:

・「STOPコロナ」広域商圏PRチラシ発行事業 7,300千円:熊谷商圏10市町への新聞折り込み費用

・「STOPコロナ」日中営業型飲食店応援事業 45,000千円:昼間の営業を主とする150店舗を対象

・「STOPコロナ」観光バス、宿泊施設応援事業 50,660千円

◆熊谷市立学校設置条例の一部を改正する条例

・成田星宮小学校の設置、成田小学校・星宮小学校を廃止

(令和5年4月1日から施行)

◆熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例

・成田星宮小学校の設置に伴い、成田児童クラブの名称を変更

(令和5年4月1日から施行)

◆熊谷市都市公園条例の一部を改正する条例

・利根川総合運動公園多目的ゴルフ広場の使用料の額等

・熊谷運動公園テニスコートの使用料に関する規定の整備

(令和4年4月1日から施行)



※多目的ゴルフ広場
グラウンドゴルフ・ターゲットゴルフ
バードゴルフ・パークゴルフ等



令和3年6月定例会
【市政に関する一般質問】
「コロナ禍における支援について」厳しさが増えている観光バス事業者や酒販事業者へ対する支援を要望し、市長より国・県の支援と併せ、事業者に寄り添った支援を実施し全力で総合的なコロナ対策に取り組むとの答弁を得ました。

【令和2年3月定例会市政に関する一般質問】
「スポーツ環境のさらなる充実について」質し全国的に数少ないパークゴルフ場の新設を要望しました。

令和3年6月定例会☆市政に関する一般質問☆

1. 芸術文化活動の充実について

《質問の背景》

文化芸術全般の基本的な法律
「文化芸術振興基本法」

- ・少子高齢化
- ・グローバル化の推進

平成29年6月改正
「文化芸術基本法」

《法の趣旨》

文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策を本法の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用しよう。

芸術文化とは？ ※文化庁資料より

- (芸術) 美術・音楽・演劇・舞踊・映画・文学等
- (芸能) 講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱等
- (生活文化) 華道・書道等
- (国民娯楽) 囲碁・将棋等 を言う

行政機関・文化芸術団体・民間事業者
学校・地域等のこれまで以上の連携により、文化芸術に関する施策が、更に推進されていくことが期待される。

《施策の位置づけ》

- 埼玉県：埼玉県文化芸術振興基本条例
- ：埼玉県文化芸術振興計画
- 熊谷市：第2次総合振興計画
- ：教育振興基本計画
- ：生涯学習事業計画等



《県内他市では？》

- ◆さいたま市文化芸術都市創造条例
- ◆川口市文化芸術振興条例
- ◆川越市文化芸術振興・市民活動拠点施設条例
- 《最近では》
- ◆東松山市文化芸術推進条例 (令和3年4月～)

本市も条例化を視野に入れ、しっかりと腰を据えて取り組むべき！

《主な質問内容》 一部抜粋の内容です。詳細は市議会ホームページ会議録をご覧ください。

Q 1. 芸術文化活動の支援について（具体的支援とコロナ禍における支援は？）

A 1. スポーツ・文化村の整備や江南公民館の陶芸窯の更新など、文化芸術に親しめる場の提供に努め、自主的な活動への文化振興基金による助成、市民ギャラリー・妻沼展示館使用料の補助も行っている。コロナ禍における支援は、熊谷市文化連合に対しウェブ会議導入のためのプロジェクター等の購入に係る財政支援を行っている。

Q 2. 市内各所で観て楽しめるよう、企業や店舗で行う様々な
絵画などの展示はまちづくりに寄与できるのでは？

A 2. まちなかへ人を呼び込み、にぎわいが創出され、企業や店舗等のPRや収益力の向上に繋がるものであり、作品の提供など取組を支援していく。



東京電力の店頭を活用した絵画作品の展示
環境ポスター展の応募作品で、市がデータ提供し企業が展示

Q 3. ストリートピアノなど「音楽のあるまちづくり」についての見解と本市における可能性は？

A 3. ストリートピアノは、気軽に文化芸術に触れる機会の提供・にぎわいの創出に繋がり、音楽を通じた新たな交流も期待され、駅コンコースや、商業施設等で拡がりがある。
市が設置する場合、場所の選定・設置場所利用者への音響配慮など管理や運営方法に課題もあり十分な調査検討が必要。



ストリートピアノ

Q 4. 小中学校や熊谷市スポーツ・文化村「くまびあ」への美術作品の常設展示の
拡大の考えは？

A 4. 芸術作品に触れる機会づくりとして、くまびあでの展示点数の増加や、小・中学校での展示に向け協力いただく文化芸術団体と協議する。

（まとめ）

文化芸術活動の裾野を広げるためには、子育て世代や働き盛りの世代、退職してセカンドステージを迎える世代などにも文化芸術に触れる機会を充実させることが重要であり。芸術文化活動は観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野に関わりを持つものであり、さらにSDGsを推進し、市民誰もが文化芸術に参加できる社会を目指す上でも重要な活動である。

☆一般質問の詳細については熊谷市ホームページにてご覧ください！

「熊谷市議会」-「インターネット中継」 ※録画放映は生中継後、土日を除く4日後から見る
ことができます。

「熊谷市議会」-「会議録検索」 ※検索・閲覧ができます。

議会放映



令和3年12月定例会（議会）予定：市長選挙（10月31日投票）後の召集のため会期は未定